たいよう
発行所
太洋基礎工業㈱
たいよう新聞委員会

最前線レポート

工事場所
愛知県名古屋市内
工事概要
等厚式地中連続壁工
（ミニウォール工法）
施工面積　一七一五㎡
施工幅　五〇〇㎜
施工延長　一三八ｍ
施工深度　八～一七ｍ
芯材寸法
三〇〇×一五〇
四〇〇×二〇〇
四〇〇×四〇〇
Ｌ＝七～一六ｍ×一三七本
施工機械　七五〇型

本工事は分譲マンションを建築する工事における地中連続土留壁の築造をミニウォール工法により施工を行いました。

当現場の施工で一番頭を悩まされたのが高低差でした。ミニウォール工法の特徴としてリーダーの回転機能で、どの方向からでも施工できるため狭隘な場所でも施工ができ、懸垂式のリーダーにより段差施工できる点があります。また、構造物への近接施工や境界際での施工も可能です。

当現場は施工面積二一四〇㎡と狭くはないのですが、施工基面が四段に分かれており全体で七ｍ、芯材建込基面は五段に分かれており全体で八・五ｍの高低差があります。色々な事項が懸念されましたが、その中から二点紹介させて頂きます。

①相番クレーンの選定
②段差施工箇所の造成

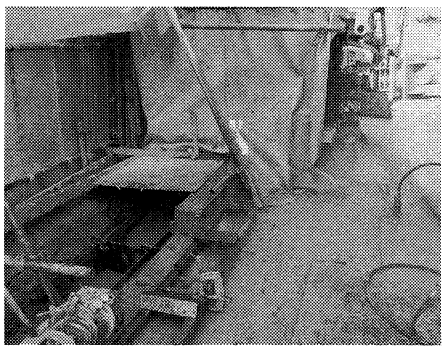
①最初に図面を頂き検討した時は五〇ｔラフタークレーンを予定していましたが、施工検討会に出席した時に平場が五ｍしか確保できないことが分かり、クローラークレーンへ変更することを決めました。そしてその箇所での施工計画では、重機と建込基面の高低差が四ｍあり十六ｍの芯材で作業半径が十八ｍでした。ＴＫ三五〇でもうまく造成・配置すれば可能だとは思いましたが、余力がなくなると緊急時に対応できなくなると思いＴＫ五五〇を選定しました。その後の施工計画で九ｍの芯材で作業半径が二五ｍになった箇所があったので、機械を選定する時にＴＫ三五〇を選定しなくて良かったと改めて思いました。その後のクレーン作業は大きな問題もなく施工を終える事ができました。

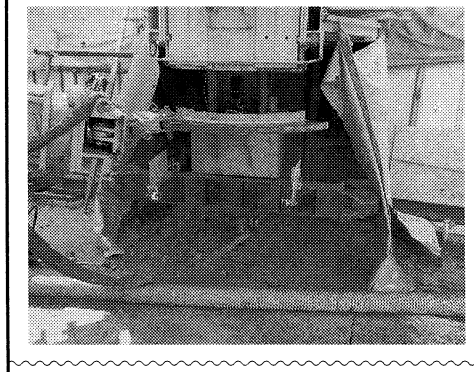
②乗り込んだ時には安全通路になっていた箇所に於いても造成を行わなければならなかったのですが、建込基面の平場・強度、汚泥の処理方法、法面の角度、掘削時に使用するＴＫ七五〇の作業半径等多岐にわたり検討を行いました。

この箇所は高低差が四ｍで芯材が九ｍなのでカッターポストは一一・七ｍ仕様にしました。それでも二〇ｔ近くの荷重がかかっていたので作業半径が七・五ｍ以下になるように造成しました。キャッチホークも標準仕様では届かないので延長したのですが、法肩に当たらないかなども確認しました。いざ機械をセットしますとほぼ図面通りの配置で無事施工することが出来ました。

最後になりますが、急な工程変更やその際の汚泥ダンプの手配をロスなくして頂きました元請様、着工前にご指導いただきました関係者の方々、高低差が大きく移動するだけでも大変だったと思いますが、工程通りに無事故で工事して頂きました神守研究開発センター・協力会社の皆様ありがとうございました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。

名古屋支店　開発部
課長　林　健太





声援

第五四期定時株主総会が、令和三年四月二二日（木）午前十時より本社三階会議室において開催されました。

昨年同様、新型コロナウイルス感染症対策のため、遠方の役員の方々はテレビモニターを通じたＷＥＢ通信による参加となりました。定款の定めにより加藤社長が議長となり執り行われました。新型コロナウイルスの問題があるなかで出席していただいた株主様へお礼が述べられ開会宣言がなされました。続いて社長より議決権行使書提出人数と議決権個数が必要な定足数を満たしていることを報告された後、伊藤常勤監査役より監査役会による取締役の職務の執行全般について指摘すべき事項が認められない旨等の監査報告がなされました。その後、議長の加藤社長より事業報告及び計算書類の内容報告が滞りなく行われ、決議事項の審議が行われました。

上程された議案は五件であり、内容は次のとおりです。

第一号議案　剰余金の処分の件
第二号議案　吸収合併契約の承認の件
第三号議案　取締役九名選任の件
第四号議案　監査役一名選任の件
第五号議案　退任取締役二名に対する退職慰労金贈呈の件

それぞれの議案に議決権行使書による参加株主様および出席株主様のご審議をいただき承認可決されました。株主の皆様には大変感謝申し上げます。特に第二号議案である当社の完全子会社である株式会社ランド・クリエイティブを吸収合併することは、経営の効率化と事業基盤、営業強化を図る目的を達成します。人材、技術、設備等全ての経営資源を集中することにより、効率的な事業運営と両社のシナジーを最大限に発揮することができるようになり、新たな歴史の一ページを開くことができます。

昨年より選任されている監査法人アンビシャス様は、地域密着型の監査法人であり、先生方一人一人、非常に高いスキルを持っておられます。昨年以上に熱心にご指導をいただき感謝しております。税務に関しては早瀬清人税理士事務所様に長年ご教授を頂き過去の税務調査に対しても、税務当局から高い信頼性を得ているものと感じます。また、毎年おこなわれる株主総会の運営にご協力いただいております三菱ＵＦＪ信託銀行様、今年も新型コロナウイルスが蔓延し行先不透明な状況で行われる株主総会となりましたが、株主総会の有り方から、議事の進行、感染症対策など幅広い観点からアドバイスをいただき、バックアップをしていただきました。さらに、毎年の事になりますが、株主総会の準備と会場係、案内係を担当していただいた名古屋支店の皆様大変お疲れ様でした。多くの方にお世話になり、無事に株主総会を終了することができました。誠にありがとうございました。

総会終了後、取締役・支店長会が行われ、社長より正式に執行役員管理本部長の大任を拝しました。今まで以上に緊張感をもって、日々成長する思いで業務に取り組んでまいります。私が所属する管理本部は、社長直系直属の部署となります。社長にしっかり呼吸を合わせ、また、同所属部署のメンバーと協力して力のある管理本部の体制を構築してまいります。ある箴言に「社会は次世代を育成できてこそ、初めて成熟したといえる」とあります。次世代の主力として期待されるメンバーと共に苦楽を重ね、人材育成を行い一〇〇年継続企業の礎を築いてまいります。

今年は、現在当社が上場しております東京証券取引所の株式市場区分の再編成の年となります。これにより、当社は今まで以上に経営成績や内部統制管理等のレベルアップが求められます。その一つとしてコーポレートガバナンス・コードがあり、より上場企業として必要な内部統制体制の構築・運用・開示を行ってまいります。また、新会計基準として収益認識に関する会計基準がすべての企業で適用となります。当社は来期五六期において適用となるため、当期中に新会計基準への対応が必要となります。今後も日々取り巻く環境が変化するため、それに対応する能力が重要となっております。常にアンテナを張りめぐらせ、個々人のレベルアップも目指してまいります。

海外識者の人間の安全保障をテーマにしたスピーチに「人々の健康維持、環境や天然資源の保護、飢餓や貧困への対策、また病や貧困、環境汚染との戦いのために全ての国が結束し、新たな国際協調を築く、その道から外れるならば、世界の無秩序は強まり、文明や自然が破壊されるリスクが高まることになるでしょう」との話がありました。話の中から、安全に、安心して暮らすための根幹として、建設業の重要な使命と役割があることを改めて痛感致しました。より一層、上場企業としての高みを目指し、仕事を通じて社会へ貢献してまいります。

当社がここまで成長できたのは、株主様、各取引先、協力会社の皆様と管理本部の情報交換グループ礎会の皆様方の日頃のご協力とご指導のおかげと感謝しております。今後とも皆様のご指導やご鞭撻、ご声援をよろしくお願いします。

執行役員管理本部長
庄田　政義

共生共遊

四月一六日（金）通勤車中で私の地元名古屋、プロ野球中日ドラゴンズ、Ｊリーグ名古屋グランパス共に観客、現在の一万人から五千人に減らすとのニュース。無観客より良かったかと思ったり、行かないのも応援、この際スポーツマンシップを発揮してテレビで応援。梅が津軽海峡を渡り函館に開花と花だより。センターでは青い実をつけ始めているのに日本は広い。

春を代表する桜ソメイヨシノ、元気を出してと人に向かって下を向いて花をつける。桜の返礼として日本に贈られたアメリカンハナミズキ、我が家の庭でも樹齢三〇年、成木となって花をつけ道行く人を慰めています。この花は上に向かって咲いています。きっと上を向いて生きなさいと人々を諭しているのでなかろうか。

四月の新入社員諸君、新生太洋として重責に就いた新リーダー諸君共に時には桜の様に人々を励まし、時にはハナミズキのように高い志で生きなさいと鼓舞し自ら高めるそんな太洋マンとしての生き様、この二つから学びたいものです。

四月一八日（日）私が活動するボランティア団体ＮＰＯ法人沙漠緑化ナゴヤ、日本を代表する日刊紙毎日新聞に社会を明るくするニュースとして取り上げられました。売名行為での活動ではありませんが、正しく評価されメンバーのモチベーションも遣り甲斐も出てきます。コロナ禍で明るいニュースの少ない昨今、少しは社会奉仕の尊さが評価、理解されたのか嬉しい。

太洋の会社理念の中に社会に存在価値のある職場づくりをあげていますが、当会を支えていく我が太洋にこの機会に改めて心より感謝と誇りを感じたニュースとなりました。

顧問　豊住　満

事業所だより

静岡支店

五五期も第一四半期を終え私の所属する開発部は目標達成率約八五％と苦戦の状況です。

今期も住宅地盤改良工事と一般地盤改良工事の二本柱を主体に活動展開していますが、やはりコロナ禍による影響でしょうか発注案件の見直し、中止や延期等による市場の受注環境の厳さを痛感いたします。この状況下であるが故、御発注頂いた工事は、良質工事で得意先様に納品する事を常に念頭に置いて施工しています。

昨年から今年にかけて工期が約半年の大型案件を二件担当しました。一件は浜松市内で施工した宅地造成工事に伴う擁壁工の基礎地盤改良（深層混合撹拌）と杭工事を施工しました。敷地が約五〇〇ｍ×二五〇ｍと広大なうえ、概ね粘性土主体ではありますが所により有機質土を介在する土層構成ということもあって、地盤改良の品質確保をする上で事前調査や配合計画は、慎重に元請様と協議を重ね、施工しました。また、同現場に於いてフーチングレスパネル工法に携わる機会も頂きました。

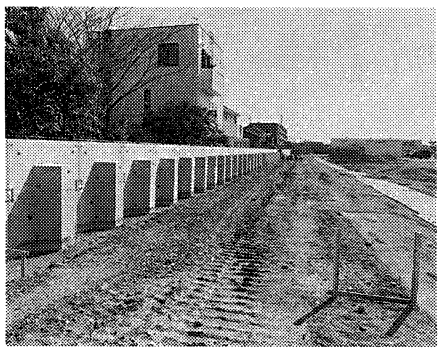
径六〇〇㎜の柱体に鋼管径三一八・五㎜長さ六・四ｍの鋼管を柱体に三・九ｍ建て込む工事を施工しました。その後上部に突出した二ｍの部分に鋼管が入る穴加工された二次製品を積み重ねて行きます。従って品質要求が高く、鋼管の鉛直性はもちろん建込ピッチにおいても高精度の施工を要求されましたが、結果は無事完工する事が出来ました。

二件目は袋井市内の遊水池整備工事でバックホウ粉体撹拌が主要工種です。現場は大雨の度に水没し葦の群生地で沼地になります。敷鉄板養生しても大型重機が潜り込む状態の作業状況の中、重機のトラフィカビリティーの確保や工事の進捗状況に合わせ、他工事車両や重機の施工導線の確保に注意し工程を進め完工しました。静岡県西部地区だけでも未だ整備されていない農業用ため池も含めて二〇〇箇所程あるそうです。今後も同様工事案件の発注が予想されます。今回の施工を生かし受注活動へ励んでいきたいと思います。

静岡支店も四月二二日より、國丸支店長を中心とした体制となりました。支店職員も開発・工事部合わせて一〇人と少数ではありますが各自が開発、工事を問わず色々な工種に対応出来る様、技術・知識の取得に日々努力奮闘しています。まだまだ時間が掛かりますが精鋭集団を目指し支店職員一同頑張ってまいります。

世間では、コロナ感染第四波と連日感染者数の報道がされております。東京五輪も先行きが不透明な状況下ですが静岡県内においても伊豆市サイクルスポーツセンターで行われる自転車トラックレースや、富士スピードウェイがゴールとなる自転車ロードレース競技等開催が予定されています。五輪開催により地元が活性化する機会でもあります。

早くワクチン接種の普及でコロナ感染の終息を願うものです。



静岡支店開発部
課長　宮野　智晴

新入社員紹介

皆様初めまして。この度、大阪支店工事部に配属になりました小野晴史と申します。四月一日に本社にて入社式が行われました。加藤社長から辞令をいただいた時、社会人生活が始まる喜びとその辞令の文字からくる責任感が重く感じました。

研修会の一日目には技術講話を六鹿営業本部長からお話していただきました。内容を聞いて知らない事ばかりでしたので、これから一つ一つしっかり覚えていこうと思いました。安全及び衛生講話では北川安全環境部長よりお話をいただき、現場での安全が最重要な事を改めて知り、実際に仕事をするときには常に意識していきたいです。一日目最後にはビジネスマナーを教えていただきました。社会人としての基本になりますのでしっかりマナーを守っていきたいと思います。

二日目は神守研究開発センターへ行き、豊住顧問から貴重なお話をいただきました。その後土屋センター長からは機械や工法を教えていただきました。その後は実際の現場へ見学に行き、これから自分はこのような現場の一員としてやらなければならないことを感じました。

これからご迷惑をお掛けしますが、一刻も早く立派な技術者になれるよう一生懸命尽力していきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

大阪支店　工事部
小野　晴史

皆様初めまして。この度、建築事業部に配属になりました徐志軍と申します。

四月一日に入社式が行われ、加藤社長より辞令をいただいた時は、ようやく社会人になったと実感しました。一社会人としての生活に不安ではありますが、楽しいこともあると思いますので頑張りたいと思います。

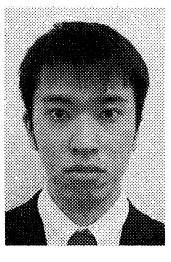
研修一日目には技術に関する講話を六鹿営業本部長からお話いただきました。様々な工法の話がありましたので覚えるのは大変だと感じました。分からない、知らないことは今後の業務を通じて知識を吸収し、一日も早く役立てるよう頑張らなければならないと認識しました。また、北川部長から安全及び衛生に関するお話があり現場の安全の重要性を教えていただきました。

研修二日目は神守研究開発センターへ行き、豊住顧問から貴重なお話をいただきました。土屋センター長からは会社の開発機械や工法、海外展開事業を詳しく説明していただきました。

その後、桜の木の植樹を行い、この桜の木と一緒に成長していこうと思いました。午後からの現場見学では豊住部長や先輩の方から色々なことを教えていただきました。

この二日間で私たちのために講話や案内をしていただいた関係者の皆様、誠にありがとうございました。これからご迷惑をおかけすることも多くあると思いますが、頑張って参りますのでどうぞよろしくお願いします。

建築事業部
徐　志軍



皆様初めまして。この度、大阪支店工事部に配属になりました西岡悠貴と申します。中学、高校ではバトミントン部、大学では少林寺拳法部に所属していました。体を動かすことが好きです。

コロナ感染症が蔓延して一年以上が経過し、人々の意識が薄れている昨今、しっかりと対策された上で入社式を執り行っていただけたこと誠にありがとうございます。今回の入社式及び新入社員研修では、今まで学んだマナーやルールをもう一度見つめ直し、より一層理解しようと思う貴重な機会になりました。どの内容でも「安心安全」「幸せ」に触れることが多く、太洋基礎工業が働く上で一番大切にしていることがしっかり伝わりました。特に印象に残っているのは北川安全環境部長講話の中に出てきた事故の話です。職人さんが勝手に安全柵を乗り越えて移動している重機に足の指を挟まれた話で、いくら安全に気を配っていても事故やケガは発生するんだと思いました。

これからは社会人として、社員としての自覚を持ち、安心安全で楽しく働ける現場を作れるように頑張りたいと思います。ご迷惑をお掛けすると思いますがどうぞよろしくお願いいたします。

大阪支店　工事部
西岡　悠貴

社長室だより　月間ＭＶＰ賞

受賞者
有限会社　山崎組
山崎　祐二　殿

当社名古屋支店に常に新築住宅購入者をご紹介して頂いております。今回は井上様を紹介していただきました。お客様が新築住宅を成約して頂いたことで、積水ハウス株式会社様に対し、当社への貢献は非常に大きなものとなります。したがって月間ＭＶＰ賞に値するものと推薦いたします。

推薦者
名古屋支店　開発部
部長　芦名沢　武志

月間ＭＶＰ賞は当社職員だけでなく協力会社の皆様も表彰の対象となっています。自薦、他薦は問いません。多くの受賞者がでることを期待しています。

代表取締役社長
加藤　行正

共済会だより

☆お疲れ様でした
四月二二日
髙田　哲夫
名古屋支店　支店長

☆ご結婚おめでとうございます
四月二八日
グエン　ヴァン　ホップ
神守研究開発センター